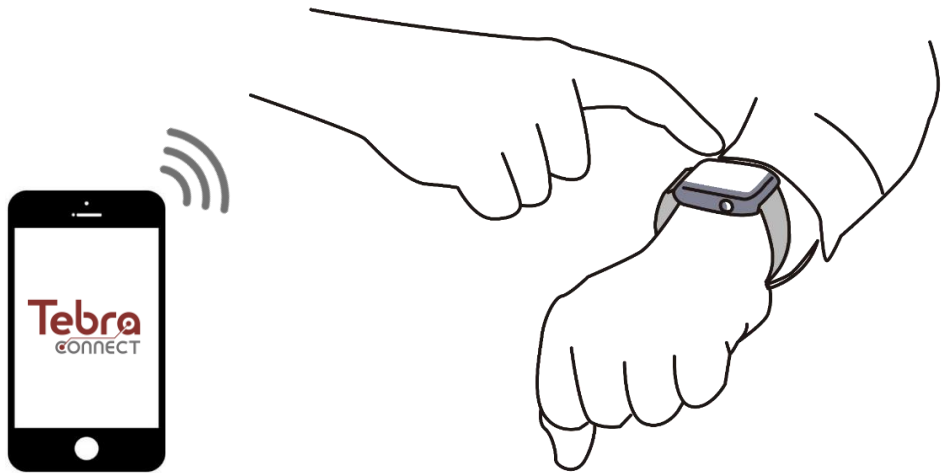


Apple Watch 取扱説明書



- Tebra connectは、スマートフォンでマンションエントランスの自動ドアの解錠や、自宅玄関の鍵を操作できるスマートセキュリティシステムです。
- Apple Watchで操作をするには、Tebra connectアプリ内でオーナー登録または居住者権限の合鍵が必要となります。詳しい手順・使用条件は、Tebra connect取扱説明書をご確認ください。
- iPhoneがロックされている場合やスリープ状態の場合は、Apple Watchで通知を受け取ることができます。
- 使用前に、iPhoneとApple Watchのペアリングを行ってください。
- Tebra connectアプリのバージョン：Ver.1.3.0以降がApple Watch対応しています。

※Apple Watchのみ対応しています。 ※Apple、iPhone、Apple Watchは、米国および他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

※iOSはCiscoの米国およびその他の国の商標または登録商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。

※iPhoneはアイホン株式会社の商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。

※アプリケーションの自動インストールを有効にしている必要があります。 ※Tebra connectには利用条件があります。



Tebraconnect
取扱説明書はこちら

アプリの概要

対象OS

対象iOS

iOSアプリのみの場合	iOS11以上 (iPhone 5s以降)
Apple Watchを利用する場合	iOS14以上 (iPhone 6s以降)

対象watchOS

watchOS	watchOS 7 以上 (Apple Watch Series 3以降 ※SE含む)
---------	---

Watchアプリ利用可能条件

専有部（玄関錠）+ 共用部・・・オーナー権限または居住者権限を持った方が利用できます。
共用部のみ・・・・・・・・・・ connectカードを登録した方、合鍵を持った方が利用できます。

専有部 + 共用部			共用部のみ	
居住者（オーナー）	居住者（合鍵）	居住者以外（合鍵）	共用部カードで登録	合鍵
○	○	×	○	○

機能比較

		iPhone	Apple Watch
共用部の解錠		○	○
専有部の解錠・施錠		○	○
合鍵の発行と管理	合鍵の発行	○	×
	合鍵の時間・回数設定	○	×
	合鍵の有効／無効の切り替え	○	×
	Tebra認証キーの有効／無効の切り替え	○ ※1	×
通知機能	自宅玄関：外出／帰宅	○	○
	玄関錠の電池減	○ ※2	○ ※2
	長時間未使用	○ ※1	○ ※1
	閉め忘れ	○ ※1	○ ※1
遠隔管理	解錠・施錠状態の確認	○ ※1	×
	遠隔施錠操作	○ ※1	×
他機器との連動	connectカメラ連動	○ ※3	— ※4
	玄関前操作：警備連動	○ ※5	○ ※5

※1：プレミアムプラン（ゲートウェイあり）のみ

※2：ライトプラン(Tebra cell connect)のみ

※3：プレミアムかつconnectカメラを契約した場合のみ

※4：居住者以外はWatchでの施錠ができない

※5：警備連動を行う物件のみ

アプリの同期

iOSアプリとWatchアプリの同期

iOSアプリで同期の設定を行うことでWatchアプリが使えるようになります。



01. iOSアプリ・Watchアプリ
を起動



04. **OK** をタップ



02. **アプリ設定** をタップ



05. 待機画面



03. **スマートウォッチ使用** をON



06. 同期完了

同期ができない場合	iPhoneの操作中、Apple Watchがスリープしていないか確認して下さい。
手順通りに何度試しても同期できない場合	Apple Watchを再起動して下さい

アプリの同期解除

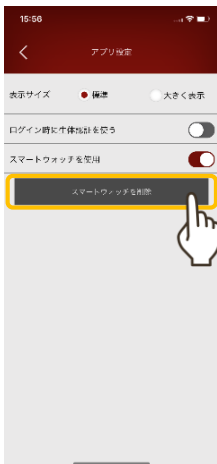
iOSアプリとWatchアプリの同期解除



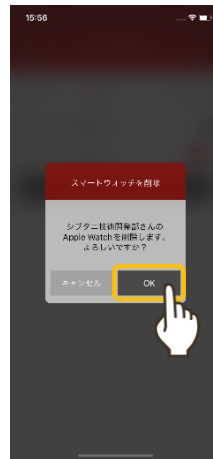
01. **設定** をタップ



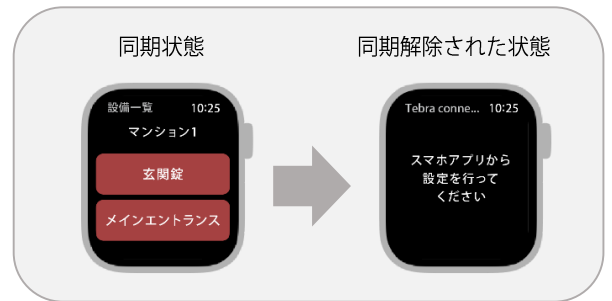
02. **アプリ設定** をタップ



03. **スマートウォッチを削除** を
タップ



04. **OK** をタップ



同期が解除され、Apple Watchのアプリが使用不可になります。

※同期の解除は、再ログインまたは、「鍵一覧へ」ボタンを
タップなどで反映されます。

Watchアプリでの施解錠操作

専有部／共用部の施解錠操作



※腕をおろすとApple Watchがスリープするので腕をあげたまま操作して下さい。

専有部解錠操作

専有部施錠操作

共用部解錠操作



01. アプリアイコンを
タップ



01. アプリアイコンを
タップ



01. アプリアイコンを
タップ



02. 玄関錠をタップ
※腕をあげたまま操作して
ください。



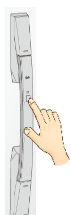
02. 玄関錠をタップ
※腕をあげたまま操作して
ください。



02. 共用部の 設備名 を
タップ
※設備名は物件ごとに
異なります。
※リーダの受信範囲内
に入ってください。



03. リーダを操作



03. リーダを操作



03. 解錠中画面を確認



04. 解錠中画面を確認



04. 施錠中画面を確認



04. 設備一覧に戻る



05. 解錠完了画面を確認



05. 施錠完了画面を確認



06. 終了



06. 終了

Watchアプリのその他機能

プッシュ通知の受け取り

居住者の帰宅等を、Apple Watchのプッシュ通知で確認することができます。

通知の設定については、Tebra connectの取扱説明書をご確認ください。



※ Apple Watchを腕から外しているときや、iPhoneを操作しているときは、iPhoneにプッシュ通知が届きます。

iPhoneとApple Watchの設定により通知先が異なる場合があります。

(iOS 15およびwatchOS 8の場合)

Watchアプリのその他機能（続き）

無効化

Watchアプリの無効化



01. **スマートウォッチ使用** を
タップしOFF



02. **同期状態を維持したまま**
Watchアプリの鍵の利用
を停止できます。

使用可能状態



無効化された状態



鍵ごとの無効化



01. **鍵 (キーリスト) を**
左にスライドさせ **編集**
をタップ



02. **スマートウォッチで施錠する**
をOFF

鍵が有効な状態



指定の鍵が
無効化された状態



※OFFにするとWatch画面上から登録名が消えます。

Q	A
iOSアプリとWatchアプリの同期ができない	<p>iPhoneとApple Watchが接続されていることを確認し、以下をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■Watchアプリを起動しているか ■Apple Watchがスリープしていないか（機種や設定によっては、腕を下すとスリープします） <p>上記確認しても同期出来ない場合以下の操作をお試しください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■Watchアプリの再起動 ■iPhone/Apple Watchの再起動 ■Watchアプリの再インストール ■iOSアプリの再インストール
対応しているApple Watchを知りたい	<p>watchOS 7以降を搭載したApple Watch Series 3以降（SE含む）に対応しています。</p> <p>なお、watchOS 7のご利用には、iPhoneのOSをiOS 14以降にアップデートする必要があります。詳細は、P.1「対応機種・OS」をご参照ください。</p>
コンプリケーションは利用できるか知りたい	<p>ご利用いただけます。</p> <p>コンプリケーションを利用すると、文字盤から直接Tebra connectアプリを起動することができます。</p> <p>〈手順〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①文字盤でWatch画面長押し ②「編集」をタップ ③スライドしてコンプリケーションの画面へ ④追加したい場所をタップ ⑤Tebra connectアプリを選択
Apple Watchでできることを知りたい	<p>自宅ドアや共用部の施錠/解錠、および通知の受け取りができます。</p> <p>鍵の登録や遠隔での自宅ドアの施錠/解錠状態管理、合鍵の発行/設定はできません。詳細は、P.1「機能比較」をご参照ください。</p>
Apple Watchで施錠/解錠できない	<p>Apple Watchが機内モードになっていないことを確認し、以下をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■Apple Watchがスリープしていないか ※機種や設定により、腕を下すとスリープします。 <p>上記確認しても施錠/解錠できない場合、以下の操作をお試しください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■Apple Watchの機内モードのオンオフ ■Watchアプリの再起動 ■Apple Watchの再起動 ■Watchアプリの再インストール
Apple Watch以外のスマートウォッチの対応機種を知りたい	<p>現在対応しているスマートウォッチは、Apple Watchのみとなっております。</p> <p>Androidをご利用の方はスマートウォッチでTebra connectをご利用いただけません。</p>
施錠/解錠履歴を確認したい	<p>Apple Watchから施錠/解錠履歴を確認することはできません。</p> <p>施錠/解錠履歴の確認はスマートフォンから行ってください。</p>
登録済みのApple Watchを同期解除したい	<p>iOSアプリで左上の設定ボタンから「アプリ設定」を開き、「スマートウォッチを削除」をタップしてください。一時的にWatchアプリの利用を無効にする場合は、「スマートウォッチを使用」をOFFにしてください。</p> <p>詳細は P.2「iOSアプリとWatchアプリの同期解除」、P.6「無効化」をご参照ください。</p>
Watchアプリが同期解除できない	<p>Watchアプリを起動したまま同期解除すると、Watch画面では鍵が残ってしまいます。</p> <p>Watchアプリを終了していただくか、10分無操作によるタイムアウトで同期解除が完了します。</p>

Q	A
Watch対応版アプリをインストールしたい	Ver.1.3.0のOSアプリから対応しています。 AppStoreからインストールしてください。
iOSアプリとWatchアプリの同期ができない	iPhoneとApple Watchが接続されていることを確認し、以下をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> ■Watchアプリを起動しているか ■Apple Watchがスリープしていないか（機種や設定によっては、腕を下すとスリープします） <p>上記確認しても同期出来ない場合以下の操作をお試しください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■Watchアプリの再起動 ■iPhone/Apple Watchの再起動 ■Watchアプリの再インストール ■iOSアプリの再インストール
対応しているApple Watchを知りたい	watchOS 7以降を搭載したApple Watch Series 3以降（SE含む）に対応しています。 なお、watchOS 7のご利用には、iPhoneのOSをiOS 14以降にアップデートする必要があります。 詳細は、P.1「対応機種・OS」をご参照ください。
コンプリケーションは利用できるか知りたい	ご利用いただけます。 コンプリケーションを利用すると、文字盤から直接Tebra connectアプリを起動することができます。 〈手順〉 <ol style="list-style-type: none"> ①文字盤でWatch画面長押し ②「編集」をタップ ③スライドしてコンプリケーションの画面へ ④追加したい場所をタップ ⑤Tebra connectアプリを選択
Apple Watchでできることを知りたい	自宅ドアや共用部の施錠/解錠、および通知の受け取りができます。 鍵の登録や遠隔での自宅ドアの施錠/解錠状態管理、合鍵の発行/設定はできません。 詳細は、P.1「機能比較」をご参照ください。
利用可能なキーの種類を知りたい	専有部をご利用の場合は、オーナー/居住者でご利用いただけます。 共用部のみご利用の場合は、connectカードのQRコードを読み取って登録した方のみご利用いただけます。 詳細は、P.1「Watchアプリ利用条件」をご参照ください。
Apple Watchで施錠/解錠できない	Apple Watchが機内モードになっていないことを確認し、以下をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> ■Apple Watchがスリープしていないか ※機種や設定により、腕を下すとスリープします。 <p>上記確認しても施錠/解錠できない場合、以下の操作をお試しください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■Apple Watchの機内モードのオンオフ ■Watchアプリの再起動 ■Apple Watchの再起動 ■Watchアプリの再インストール
Apple Watch以外のスマートウォッチの対応機種を知りたい	現在対応しているスマートウォッチは、Apple Watchのみとなっております。 Androidをご利用の方はスマートウォッチでTebra connectをご利用いただけません。
施錠/解錠履歴を確認したい	Apple Watchから施錠/解錠履歴を確認することはできません。 施錠/解錠履歴の確認はスマートフォンから行ってください。
登録済みのApple Watchを同期解除したい	iOSアプリで左上の設定ボタンから「アプリ設定」を開き、「スマートウォッチを削除」をタップしてください。一時的にWatchアプリの利用を無効にする場合は、「スマートウォッチを使用」をOFFにしてください。 詳細はP.2「iOSアプリとWatchアプリの同期解除」、P.6「無効化」をご参照ください。
Watchアプリが同期解除できない	Watchアプリを起動したまま同期解除すると、Watch画面では鍵が残ってしまいます。 Watchアプリを終了していただくか、10分無操作によるタイムアウトで同期解除が完了します。